

第 10 回

一

関

市

景

観

ま

ち

づ

く

り

賞



令和 3 年度  
一 関 市

## 一関市景観まちづくり賞について

一関市景観まちづくり賞は、一関市景観まちづくり条例第 23 条の規定に基づき、地域の魅力ある景観を守り育て、次世代へ継承するため、優れた景観形成に貢献している建造物等及び市民等の景観まちづくりに寄与する活動等を表彰し、それに携わる人々の努力をたたえることで、市民、事業者の景観まちづくりに対する意識の高揚と景観の質の向上を図るとともに、景観まちづくり活動を促進することを目的に行うもので、平成 22 年度からスタートした制度です。

### 一関市景観まちづくり賞

#### ◆賞の選考・決定

一関市景観審議会にて表彰対象を選考し、市長が決定

#### ◆選考基準

- (1) 周囲の街並みや自然環境との調和を図り、地域の優れた景観づくりに寄与しているもの
- (2) 創意工夫、努力により優れた景観を創出しているもの
- (3) 歴史や文化が感じられ、地域に親しまれているもの
- (4) 景観づくりに対して先導的な役割を果たしているもの
- (5) その他景観まちづくりに特に寄与しているもの

#### ◆景観部門

周辺景観と調和し、優れた景観の形成に寄与している建築物、工作物、外構、緑化、屋外広告物その他の物件又はこれらの複合体

※建築物等の完成年度、工法は問わない

#### ◆まちづくり活動部門

継続的に地域の特性を生かした良好な景観の創出や保全などを行い、景観形成に貢献していると認められる活動を主体的に行っている個人又は団体

※概ね 3 年以上継続して活動しているもの

#### ◆募集期間

第 10 回 令和 3 年 4 月 1 日～令和 3 年 6 月 30 日まで

#### ◆応募状況

- ・景観部門 4 物件
- ・まちづくり活動部門 3 活動

◆景観部門受賞物件（敬称略）

名 称	所在地	用途	事業主	設計者	施工者	完成年
北上大橋	川崎町薄衣地区から弥栄地区	橋梁	岩手県	岩手県県南広域振興局土木部千厩土木センター（旧千厩地方振興局土木部）	1 工区 川田工業(株)・高田機工(株)JV 2 工区 日本鋼管(株)・東京鐵骨工業(株)JV 3 工区 三菱重工業(株)・(株)サクラダ JV その他 基礎工事・塗装工事など多数の業者	平成 15 年
株式会社ケーエムエフ	花泉町涌津字石畳 85-28	工場・事務所	(株)ケーエムエフ 取締役社長 大森敏之	(株)丸卓建設	(株)丸卓建設	平成 4 年

◆景観部門奨励賞受賞物件（敬称略）

名 称	所在地	用途	事業主	設計者	施工者	完成年
及善別邸ザ・エスプリ	千厩町千厩字町浦 47-2	冠婚葬祭場	(有)及善会館 代表取締役会長 及川善行	青柳建築デザイン事務所	(株)三ツ矢建設工業	平成 29 年

◆景観部門準奨励賞受賞物件（敬称略）

名 称	所在地	用途	事業主	設計者	施工者	完成年
サービス付高齢者住宅「ブロンズスクエア花泉」	花泉町金沢字上寺袋 61-2	サービス付高齢者住宅	(株)My ケア 代表取締役 舞石 太	(株)SUM 総合	大和ハウス工業(株)仙台支社	平成 26 年

◆まちづくり活動部門受賞活動（敬称略）

名 称	活動主体	活動場所	活動歴
栗駒国定公園・周辺の環境整備事業	NPO 法人 須川の自然を考える会 理事長 熊谷 隆	栗駒国定公園	約 28 年間
北上川クリーン大作戦	NPO 法人 北上川サポート協会 理事長 伊藤 博人	北上川	約 17 年間
黄金の郷づくり	農地・水徳田地区 代表 千葉 ひろあき	藤沢町徳田地区	約 15 年間

## ◆景観部門 景観賞

### ○北上大橋

この2代目「北上大橋」は、地域住民の「初代の橋の形状を残してほしい」との思いを行政が汲んだものである。全長は 482m（国道 284 号に架かる橋の逆から読む語呂合わせ）であり、使用した鋼材は当時の川崎村の人口と同数の 4,615 t である。行政側の粋な計らいもあった。

地域の熱望が実を結んだものであり、その素晴らしい形状と力強さは存在感が有る。北上川に架かる大橋は、夕日に映えることによりさらに優雅な景観を創出している。

これからも地域住民のランドマークとして愛され、幾多の人々の心に数々の思い出を刻み込んでいくものと思う。

事業主：岩手県

設計者：岩手県県南広域振興局土木部千厩土木センター（旧千厩地方振興局土木部）

施工者：1 工区 川田工業(株)・高田機工(株)JV、2 工区 日本鋼管(株)・東京鐵骨工業(株)JV

3 工区 三菱重工業(株)・(株)サクラダ JV、その他 基礎工事・塗装工事など多数の業者



### ○株式会社ケーエムエフ

建物と庭が一体となったデザインであり、日常管理が行き届き、四季折々の自然の変化に調和した工場となっている。今年は東京オリンピックにちなんで五輪をかたどったデザインのオブジェも登場し、冬にはイルミネーションでのライトアップも行われている。維持管理が大切な時代となってきており、このような活動が国道に隣接する場所で行われていることは、今後、他への波及効果も考えられる。これからの景観の維持管理のお手本となるものと考えられる。

事業主：(株)ケーエムエフ 取締役社長 大森 敏之

設計者：(株)丸卓建設

施工者：(株)丸卓建設



◆景観部門 奨励賞

○及善別邸 ザ・エスプリ

千厩地域の市街地に存在し、古来より親しんできた伝統的なデザインと、現代のモダンなデザインが融合された建築物あり、落ち着いた色合いにも関わらず洗練されたデザインとなっている。平家建てとして高さを抑え、竹林で建物を囲うなど、周辺景観に配慮されており、町中にありながらひと時の癒しを与える景観を醸し出している。

事業主：(有)及善会館 代表取締役会長 及川 善行

設計者：青柳建築デザイン事務所

施工者：(株)三ツ矢建設工業



◆景観部門 準奨励賞

○サービス付高齢者住宅「ブロンズスクエア花泉」

近代的な建築物ではあるが、圧迫感を与えないように高さを抑えた建物として、周辺景観に配慮しており、入居者や利用者などの癒しの場となっている。また、建物と道路の間に植栽を設けるなど、景観を意識して色とりどりの花々を植えている。さらに、自然を生かした裏山にある桜の管理など、景観保全活動も行っている。

事業主：(株)Myケア 代表取締役 舞石 太

設計者：(株)SUM 総合

施工者：大和ハウス工業(株)仙台支社



## ◆まちづくり活動部門

### ○栗駒国定公園・周辺環境整備事業

NPO 法人 須川の自然を考える会 理事長 熊谷 隆

この団体は、子どもたちに自然の大切さや厳しさを学ぶプログラムを提供している。国定公園の栗駒山は、硫化水素ガスの影響で須川コースが閉鎖となりました。そのため、迂回路の環境整備を当該団体が委託された。この団体は、産沼(うぶぬま)コース・瑞山(みずやま) 笹森(ざるもり)コース・名残が原(なごりがばら)周回コースなど、他ルートの魅力が伝わるよう、登山道の整備や、幅広い活動を行っており、自然保護を通じて景観の保護に携わっている。この活動は、標高が高く険しい地形であるにも係わらず、28年にわたり行われており、須川の良好な景観を守っている。



### ○北上川クリーン大作戦

NPO 法人 北上川サポート協会 理事長 伊藤 博人

北上川クリーン大作戦を今まで 30 回以上行っており、景観の保全活動に熱心に取り組んでいる。保全活動の他にもEボート大会、川とのふれあい事業なども行っており、平成30年度には、岩手日日文化賞、善行賞、手づくり郷土賞などを受賞している。川の景観保護活動を通じて地域住民と事業を一緒に行っている団体であり、川の景観維持の啓発にも寄与している。



## ○黄金の郷づくり

農地・水徳田地区 代表 千葉 ひろあき

地域の景観保全活動を15年にわたり行っている団体であり、菜の花、ひまわり、桜の植樹、水源かん養林の保全管理などを行っている。また、未来を創る子供たちへの景観教育の一環として、ゲンジボタルの学習鑑賞会などにも取り組んでおり、景観まちづくり教育にも熱心である。



#### ◆一関市景観審議会、北原啓司会長からのメッセージ

今回の景観部門では、これまでは応募のなかった土木景観が印象的でした。「北上大橋」の巨大なアーチトラスの力強い景観に圧倒されました。地元では「川崎ザウルス」と呼ばれ親しまれている場所であり、さらにこの土木景観は、川そして周囲の緑と見事に調和していました。

「株式会社ケーエムエフ」からの応募は、建物の外部空間という景観でした。地域でもその手入れでとても有名な場所と聞きましたが、一年間を通して丹念に庭の手入れがなされ、またイルミネーションの工夫など、地域に親しまれる景観づくりを日常的に行っている素晴らしい実践であり、これも審査員一同、賞に値すると判断しました。

「ザ・エスプリ」は、建物前面に竹を配し、水平のラインを強調した平家建てのフォルムは、特に前面道路から受ける印象に大きく影響を与えていました。建物の側面や背面がこれから時間とともに整備されていくことにより、建物全体からエスプリが感じられるようになることを期待します。

「ブロンズスクエア花泉」は、周辺の景観を意識しており、外構の景観づくりに努力を感じましたが、立地環境と建築物との関係性に、もう少し工夫が感じられたらさらに良かったという印象でした。

後者の2作品は、その姿勢に敬意を表するとともに、今後の継続的な景観整備を応援する意見が審査委員から出され、奨励賞及び準奨励賞として表彰することとしました。

一方、活動部門の3つの活動「栗駒国定公園・周辺の環境整備事業」、「北上川クリーン作戦」、「黄金の郷づくり」は、これまでも長年継続してきた活動であり、景観の保全活動、未来の子供たちへの景観教育活動などを通じて景観啓発に寄与する頭の下がる活動であり、改めて素晴らしい活動として表彰し、今後の活動のさらなる発展を願うものです。

#### ○一関市景観審議会委員名簿（選考委員）

会長	北原 啓司	弘前大学教授
職務代理	三宅 諭	岩手大学農学部准教授
委員	佐々木 賢治	(一社)一関市観光協会 会長
委員	村上 恵志	(一社)岩手県建築士会一関支部長
委員	菅原 理	一関市協働推進会議 会長
委員	菊池 泰一	大東支所推薦
委員	橋本 温子	川崎支所推薦
委員	吉野 靖	岩手県南広域振興局土木部一関土木センター建築指導課長
委員	原田 哲	まちづくりスタッフ
委員	高橋 系子	まちづくりスタッフ



## 一関市建設部

### 都市整備課

〒021-8501

一関市竹山町7番2号

TEL 0191-21-2111